

四十八 防衛庁

私は防衛庁では内局はもちろん、陸海空の自衛隊の全国の主な駐屯地、基地などを講演して回り、陸上幕僚長や防衛庁長官から感謝状をいただいたのですが、これはほとんど自費で回ったのです。経済的には非常に貧弱な身でありながら、「国家のため」と自費で回ったのでした。四十一年一月鹿児島県国府の自衛隊に行つたときなど、陸上幕僚監部派遣講師といつて一級の代表旅館に泊められ、宿泊費は自弁ですからひやひやしたことを覚えているのです。その後は各地に出かける時は自衛隊だけでなく、外のところでも講演、たとえ少額でも謝礼を出すところがあり、それでうめあわせて回ったものでした。

防衛庁の事務次官をしておられた島田 豊さんは佐賀中学で学生時代私の講演を聞かれ、漢字交じりの省略法など盛んに使つておられた人でした。警察庁の教養課長をしておられたころ、全国警察官全員に配布される「教養旬報」に「即席速記法」といつて載せられたのはこの方のおかげでした。宮城県の警察本部長をしておられるときお訪ねするとすぐご自分で直接警察学校長に電話をかけられ、「今、こういう人が来ているが講演はどうか」といわれ、すぐ講演させていただいたこともあったのです。防衛大庁の事務次官をしておられるときなど、私がお訪ねすると会議中でもでてみえたくらいでした。防衛大